

# 学 則

## 1. 研修の目的

基礎研修課程の学習により、ホームヘルプサービスを提供することの出来る知識や技能を修得すると共に、高齢者や障害者に対する理解を深め、心豊かで活力のある人間性の育成を目的とする。

## 2. 研修の名称

苫小牧高等商業学校ホームヘルパー養成講座

## 3. 研修の要旨

研修課程	事業所の所在地	研修形態	修業年限	研修期間	定員(人)	受講料	受講対象者
障害者居宅介護従業者基礎研修課程	苫小牧市	昼間	8ヶ月	8ヵ月間	58人	教科書代金1人2,592円	苫小牧高等商業学校1学年在籍生徒(全員対象)

## 4. 受講手続

### (1) 募集期間

受講対象者が苫小牧高等商業学校1学年在籍生徒のため、特に設定しない。

### (2) 受講料納入方法

教科書代の実費、および実習費を徴収する。(研修の運営には授業料の一部を当てる)

### (3) 受講料返還方法

徴収をしないので返還なし

## 5. 研修時間

(1) 実習、演習の一部及び特別日課として行う講義以外は、教育課程の週時程の中で実施する。

(2) 教育課程の研修時間は次のとおり

学級	曜日	実施時間	対象人員
1年A組	火曜日	午後1時25分～午後3時25分	29人
1年B組	木曜日	〃 ～ 〃	29人

(3) 講義、演習、実習の科目・教科名・時間数については、次のとおりとする。

	科 目	時数	教 科 名	時数
講 義	福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義	3	サービス提供の基本視点	3
	障害者福祉及び老人保健福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障制度に関する講義	4	障害者自立支援制度とサービス	2
			老人福祉の制度とサービス	2
	居宅介護に関する講義	3	居宅介護概論	3

講	居宅介護に関する講義	3	居宅介護概論	3
	障害者及び老人の疾病、障害等に関する講義	3	サービス利用者の理解	3
	基礎的な介護技術に関する講義	3	介護概論	3
義	家事援助の方法に関する講義	4	家事援助の方法	4
	医学等の関連する領域の基礎的な知識に関する講義	5	医療の基礎知識	3
心理面への援助方法			2	
演 習	福祉サービスを提供する際の基本的な態度に関する演習	4	共感的理解と基本的態度の形成	4
	基礎的な介護技術に関する演習	10	介護技術入門	10
	事例の検討等に関する演習	3	居宅介護の共通理解	3
実 習	指定生活介護を行う事業所等のサービス提供現場の見学	8	在宅サービス提供現場見学	8
(合 計)		50	(合 計)	50

## 6. 研修の免除

免除科目はなし

## 7. 主要テキスト

(書名) 介護の基本テキスト「はじめて学ぶ介護」

(発行) 株式会社 日本医療企画

## 8. 修了認定

### (1) 出欠の確認方法

- ・受講者用の出席簿を備える。
- ・講義及び実習の始めに当該校の学級担当教員により出欠を確認する。

### (2) 成績の認定方法

- ・研修の全課程に出席した受講生に対して事業者（学校長）が認めた場合、養成研修の成績を認定する。なお、課程の一部を欠席した受講生には事業者が認めた場合、補講やリポートの提出によって補うことが出来るものとする。

### (3) 修了の認定方法

- ・居宅介護初任者研修等実施要綱に基づく障害者居宅介護従業者基礎研修カリキュラムの全課程の修了を認めた場合、事業者（学校長）が修了を認定する。

### (4) 修了証書（別紙により記載）

- ・研修終了者に対し、別途定める様式による修了証明書を交付する。

## 9. 退学規定

当研修は、苫小牧高等商業学校1学年に在籍する生徒全員が同校の教育課程の一部として受講するため、当研修の退学については、同校の学則により退学が認められた場合に限り認定する。

## 10. その他 なし